

マインドコントロール

秋留台(あきるだい)公園は JR 武蔵五日市線の東秋留駅と秋川駅のほぼ中間点にある都立の大きな公園だ。

中央に6レーン、一周400mの標準トラックがあり、南側には手入れの行き届いた沈床式西洋庭園(バラ園)がある。西側には大岳山をはじめとする奥多摩の山々を眺望できる小高い展望台があり、これらを遊歩道が取り巻いている。

ちなみにトラックを取り囲む観覧席の外側を巡る内回りのコースは740m、展望台の下を通過して遠回りをするコースは890mの距離がある。

ウォーキングの途中、しばしばこの公園に立ち寄るが、ある時、妙なことに気がついた。

遊歩道を歩く人の流れがすべて反時計回りなのだ。それがいつ行っても変わることがない。のんびりと散策する年寄も、数人連れでウォーキングしているオバさんたちも、息を弾ませながら走っているジョギングのオジさんも、公園の北隣にある秋留台高校の生徒たちのマラソンも、申し合わせたように左回りをしている。

右回りをする人も無いではないが、そんなへそ曲がりとは極めて稀で、居合わせた人の九分九厘が左回りをしている。草花公園は平井川沿いにある市立の大きな公園だが、この遊歩道で見かける人たちは、右回りと左回りが半々だ。

秋留台公園では、中央スタンドの前を起点—終点に、遊歩道の上に、0—50—100—……と50m間隔で里程と矢印が白ペンキで左回りに描かれている。一方の草花公園にはそれがない。秋留台公園の人の流れが一方向に偏るのは、この白ペンキの矢印のせいだと思う。ウォーキングやジョギングをしている人が距離を掌握するために左回りをするのはわかるが、公園の中を当てもなくぶらぶらと散策したり、犬を運動させている人などは、左回りでも、右回りでもよい筈だ。

それなのに、当人が知らないうちに誘導されているのだ。大衆の行動をコントロールするのがこれほど簡単なものだとは思っても見なかった。

オウム真理教の一派が跳梁跋扈した一昔前に「マインドコントロール」と言う言葉が流行った。意味合いが違うが、これも一種のマインドコントロールだと思う。

当事者は全く意識していないのに行動が誘導されてしまう。なんとも恐ろしいことだ。

2005年 2月